

視聴覚教育

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成十四年七月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「使用頻度の高い機器」「今後充実に希望する機器」の三項目である。

本年度も、充実に希望する機器の中から、特にパソコン関連機器も取り上げて調査した。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育（第三四号）』に掲載されるが、ここではその概要を述べる。

使用頻度の高い機器では、昨年に引き続き、CD付き録音機、テレビ受像機、VTRといった機器が小学校、中学校ともに上位を占め

た。理由として、操作が比較的容易な上、授業や校内活動で幅広く利用できることが挙げられる。特に小学校では、教材提示装置の利用も多く、様々な機器と簡単に接続できるテレビ受像機は、教育番組やビデオの視聴に限らず、幅広く使用されているようである。

充実したい機器の順位

機器名	小学校	中学校	総合
M Dレコーダー	1	1	1
デジタルビデオカメラ	2	2	2
DVDプレーヤー	4	3	3
デジタルスチルカメラ	4	5	4
8ミリビデオカメラ	4	5	4
教材提示装置	3	8	6

NO.286

発行日

14.10.4

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚用語

『デジタルズーム』
デジタルカメラのズームの種類。デジタルカメラの内部で記録した画像を、情報量はそのままに拡大して表示する。同じ画素数の画像は拡大した分だけ画像は粗くなってしまう。

充実したいパソコン関連機器

機器名(主なもの)
ビデオプロジェクター
カラープリンター
デジタルビデオカメラ
カラーレーザープリンター
DVD-R/RW
外付けMOドライブ

次に「充実したい機器」では、MDレコーダーが小学校、中学校ともに一番多かった。主に録音の面で、デジタルの利点をもっと活用したいという要望の表れであろう。さらに昨年に比べ、DVDプレーヤーの順位が上がっており、デジタル化の進展とともに、より高品質の音や映像が教育現場でも必要とされているといえる。

また、パソコン関連機器では、昨年に比べ、ビデオプロジェクトやカラーレーザープリンターの需要が伸びている。ソフトでは、デジタルビデオカメラの普及にともない、動画編集ソフトの要望が高まっている。

「視聴覚教育あれこれ」

平成十四年度岡崎市教育研究大会

去る九月十二日(木)、福岡中学校で岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学の大谷尚教授をお迎えした。「高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。

発表された十五点のリポートの内容を分類すると次のようになる。

学習メディア、パソコンの

効果的な活用法の研究

(4)

校内ネットワークの

環境整備と活用の研究

(2)

岡崎教育ネットワークの

環境整備と活用法の研究

(6)

市自作ビデオ活用の促進と

学校独自の自作視聴覚教材の制作(3)

助言者の大谷先生には、丁寧なご指導・ご助言をいただき、次のような言葉でまとめられた。

今までの日本の授業のあり方に縛られない斬新な方法を考え、教育を変革し発展していくために、視聴覚教育はどうあるべきかという視点で研究を進めていきたい。

なお、父母と教師の教育を語る会(県教研)には、小豆坂小学校川本祐二先生と竜海中学校佐渡英彰先生が選ばれた。

「実践報告」

人材バンクのデータベース作成

甲山中学校 村田 貴志

現在本校では、地域を基盤とした総合学習「ハートフル甲山」の学習を行っている。2年生のテーマは「甲山『人』交流」で、これは地域で中学生に様々なことを教えてくださる方々の人材バンク作りが中心となっている。

学習は、学区の全ての家庭に人材バンクへの登録を呼びかけるピラを配布する作業を行い、それを生徒自らの手で回収することから始まった。その中に、電話での受け答えを教えてください。さるとい方がみえ、早速学校で講義して下さった。こうして得た知識を生かして、生徒たちは他の方々にも直接電話で約束を取り付け、個々の調査活動へと展開させていった。

調査活動では、デジタルカメラや、録音機など記録メディアを選択し、情報を収集することができた。現在はそうして得たデータを、パソコンソフト「アクセス」を利用して制作したデータベースに打ち込む作業を行っている。

ここまでの学習で生徒からは「地域の人がとても優しい」「(電話による調査で)顔の見えない相手とも心をこめて話すようにこころがけた」といった感想が見られている。今後の学習でも、心をつなげるツールとしてのメディア活用の在り方を、生徒たちがさらに学び取っていくことを期待している。



「レッツ・トライ」
タイピング練習ソフトを使った計算練習

小学校パソコン新規導入校のソフトの中に『スペースキーボード』というソフトがある。タッチタイプの基本と練習と、計算練習ができる。それぞれの子供のレベルに合わせて、問題のレベルを選択できる。また、ネットワーク対応なので、ネットワークでつながっている友達と早打ち競争もできる。結果も発表されて、子供たちのやる気を引きだす。タッチタイプブレースに先生も一緒に参加すれば、子供たちが、「先生早いね。」と言って一目置くこと間違いなし。授業の導入で時間を決めて使っていると徐々の子供たちの文字入力速度を上げることができる。



また、問題作成ツールもある。問題作成ツールを開いて、問題と答えが対になるように作る(答えに漢字を使うことはできない)。などなどのような問題でも計算問題でもできる。作った問題にタイトルを付けて、スペースキーボードのファイルの中のユーザー問題のフォルダに保存すればオリジナルの問題で子供たちが学習することができる。

なお、スペースキーボード問題ダウンロードサイトがあり、いろいろな問題をダウンロードすることもできる。

《<http://www2.bunkei.co.jp/%7Esoft/skb/>》
(竜美丘小 学習情報主任 杉山康子)

ライブビューだより

新規購入予定16ミリ映画(社会教育)の紹介

領域	題名	分
社会教育	お助けマン参上	30
児童劇	身障犬ギブのおくりもの	39
交通安全	キョロちゃん交通安全	15
アニメ	るるるのルール	16
アニメ	サンタさんは大いそがし	12
アニメ	10ぴきのかえるのなつまつり	20
アニメ	カワウソ親子の冒険	19
アニメ	心の花たば	13
アニメ	みみずくとお月さま	11
アニメ	ちびまる子ちゃん 花輪君に英会話を習う	24

感性を育む親子映画会のお知らせ

十二月八日(日)、中央市民センター(上六名三丁目)において親子映画会を開催いたします。

- ・ 歩きだした木馬
- ・ おじやるまる
- ・ 少年むくはとじゅう物語

のアニメ映画3本を予定しています。
入場無料。午前十時と午後一時三十分の二回、上映いたします。ぜひご覧ください。